

2007年度 看護情報学

薬の個人輸入と看護職の役割

2007年5月24日

精神看護学専攻 赤江麻衣子

私たちが必要な薬を手に入れる方法

- 医療機関を受診して、医師の診察の結果、処方された薬を、医療機関もしくは、薬局で購入。(医療用医薬品)
- 薬局薬店で市販されている薬を、消費者が直接購入。(一般用医薬品)

しかし、それ以外にも方法が！

- その方法とは、**薬の個人輸入**です。
- 医薬品は人の健康や身体等に直接影響するものであることから、わが国で品質、有効性、安全性が確認されて承認された製品でなければ輸入して流通することができないよう、規制されています。
- ただし、自己の疾病の治療等、自らが使用するために海外で医薬品を調達して個人が携帯して持ち込んだり、個人輸入して自らが使用することは、一定の数量の範囲内であれば禁止されていません。
(厚生労働省HPより)

個人輸入って？

- 個人輸入のはっきりした定義はありませんが、「外国製品を個人で使用することを目的とし、自ら、あるいは代行業者を通じて海外の通信販売会社、販売店などから購入すること」を指します。（日本貿易振興機構HPより）
- 医薬品（処方箋が必要なものも含む）は、食品や衣料品、家具・家電のように個人輸入できます。
- 輸入できる数量は、2カ月分以内。ただし、要指示薬は1カ月分以内とされています。

どうやって個人輸入するの？

- 個人輸入には、自らが海外に出向いて購入した品を持ち帰ることも含まれます。
 - また、海外の通販会社からカタログなどを取り寄せて注文するという方法があります。
- ・・・しかし、これらの方法が一般的かというとそうではありません。消費者の多くは、**個人輸入代行業者**を通じて行っています。

個人輸入代行とは？

- 個人輸入では、外国語での発注が必要な場合が多く、また、トラブルも多い。
- そんなとき、海外での取引を代行してくれるのが、個人輸入代行業者です。
- 個人輸入代行業者は、商品の販売や宣伝をしてはならず、あくまで、個人輸入のための手段として活用される必要があります。
- そのため、個人輸入代行業者が商品の詳しい説明（製造方法や効能など）を提供することはできません。

インターネットによる検索結果

Key Word ‘薬’ ‘個人輸入’

- Yahoo!では、約491000件
- gooでは、約90700件
- Googleでは、約1400000件
- infoseekでは、約95200件
- excite!では、約184000件

これらのサイトの内容は？

- もちろん全てのサイトを確認したわけではありませんが、内容は大きく二つに分けられそうです。
1. いわゆる「個人輸入代行サービス」を行っている業者、ショップのホームページ
 2. 薬の個人輸入代行に関する事件、事故やそれに対する注意喚起を促すホームページ

圧倒的に1のサイトが多かった。また、1のサイトの多くに、薬の個人輸入に関する注意が説明されていた。

薬の個人輸入代行業者の取り扱い品とは？

- 薬の個人輸入を代行する業者は多いが、取り扱い品のラインナップは結構似ている。

その内容を一部挙げると…

☆ 痩身 ☆ 美容 ☆ 育毛 ☆ 性機能障害
☆ 不眠 ☆ 抑うつ ☆ 抗精神病薬
☆ 経口避妊薬、中絶薬 ☆ 感染症治療
☆ 抗がん剤 などなど…

薬以外にも、サプリメントなどを扱っています。

薬品個人輸入のメリットとは？

- 個人輸入代行業者のサイトや個人輸入をしている消費者のWebサイトからは、

♪ 便利さ・手軽さ

- ・医療機関で長時間待つ必要がない
- ・受診に抵抗がある症状の治療もできる

♪ 治療効果への期待

- ・海外で効果を上げている未発売の医薬品が買えるなどが見られました。

しかし、皆さん！

- 少し前、テレビやインターネットで、こういうニュースが流れていたのを目にしませんでしたか？

「個人輸入した薬で死亡例」

「ダイエット薬を個人輸入していた女性が死亡」

☆こうした事故を未然に防ぎ、海外の医薬品を必要とする人たちが安全に個人輸入できるために、私たち看護職は何が出来るのでしょうか？

私たち看護職の役割とは… (by H.E.PEPULAU)



「看護婦は、＜情報提供者としての役割を果たす。患者がみずからの新しい状況を理解するのに役立つ特定の必要な情報を提供する。」

「看護婦はまた、専門的な方策を理解し、優れた技能と識別力をもって、それらが患者のためになるよう使いこなす＜技術専門家＞としての役割も果たす。」

医薬品個人輸入にあたって 注意すべきこととは・・・？

- 厚生労働省HPでは、医薬品個人輸入への注意喚起を促しています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/kojinyunyu/050609-1.html>

医薬品個人輸入にあたって 注意すべきこととは・・・？

- ほとんどの個人輸入代行業者のサイトには、注意点が詳しく書かれています。

例

- このホームページで個人輸入できる商品の中には日本国内未承認薬が含まれています。このような商品の輸入をご希望される場合は、あらかじめお医者様にご相談されるなど、商品の効能や必要性を熟知した上で、ご自身の判断にて輸入代行をお申込みください。

消費者は、どこで薬の効能や副作用 についての情報を知るか

- 先に述べたように、個人輸入代行業者が商品の詳しい説明（製造方法や効能など）を提供することはできません。
- このため、ホームページには、商品名に「伏せ字」があったり、「商品に関する詳しい説明は、薬事法に触れるため控えさせていただきます」と記載されることもあります。

一消費者になったつもりで、 看護職に出来ることを考えてみよう

- 事例

同居する家族が、統合失調症と診断され、病院に通院して薬も飲んでいるが、一向に良くならない。そんな折、海外で統合失調症治療に高い効果を上げているという「クロザピン」という薬を個人輸入できることを知った。

‘クロザピン’ ‘個人輸入’ で検索してみると

- Yahoo!で631件ヒットした。
- 「なんだ、結構リーズナブルじゃない？ 受診して薬を出してもらうより、安いかも。」
- 「でも、“医師の指導を受けてください” “医師のアドバイスに従ってご利用ください”だって。医者が当てになんないから個人輸入なのに。」
- 「異常が出たら医者に相談すればいいじゃない？ 心の薬だし、まさか死ぬことはないでしょう」
- 「今は切羽つまってるし、本人の同意のもと飲ませるなんて無理だわ。」
- ……こんな風に考える人はいないでしょうか？？

クロザピンとは・・・

- クロザピンは、従来の抗精神病薬が有効でない治療抵抗性統合失調症の治療に使用を認められている唯一の薬物です。
- 統合失調症患者の自殺企図行動の治療のために用いられる薬物でもあります。
(www.clozaril.com/より引用。訳と要約は発表者による)
- しかし、無顆粒球症との関連を指摘されていることなどから、日本ではまだ認可されていません。
- 海外で、クロザピンを服用している患者は、定期的な血液検査により白血球数をチェックしています。

このような情報は容易に得られるか

- クロザピンは、日本未承認の医薬品であり、製薬会社が公開しているHPは、全て英文である。
- 日本語でクロザピンについて詳しく説明されているページは、医師や薬剤師による研究論文が殆どであり、専門用語も多い。
- ウィキペディアやYahoo!知恵袋、OKwave,などで調べても、情報は少なく、乏しい。
- すなわち、消費者が、日本未承認の薬に関する正確な情報を得るのは極めて難しい。
- そもそも、クロザピンという薬があるという情報に行き着けない人の方が多いのですが・・・。

そこで・・・

- 疾患の治療のために海外の医薬品を必要としている人々が、安全に薬を使えるように、私たちが発信できる情報の内容やツールについて、話し合ってみたいです。

ex. 私たち看護職が、積極的に薬品の個人輸入に関する情報を発信することは可能か？

どの媒体を使って、看護師がどのような情報を公開することが効果的か。